

市長メッセージ

「世界にエールを送るまち」を共に創ろう！

大震災からの復興半ばにして、新型コロナなど様々な困難が続きますが、福島市は、新時代に向けた取組を決して休むことなく、試練を変革のバネとして歩んできました。

今年は、ポストコロナに向けた流れが急速に動きだします。私たちは、この流れを先取りし、福島らしさを生かしながら、賑わいづくり、デジタル化やゼロカーボン化、共生社会などのまちづくりを加速していきます。

情熱と行動力をもって積極果敢にチャレンジする新しい力が必要です。一人としても、ワークライフバランスを率先して実現してほしいと期待しています。

コロナを越えて『世界にエールを送るまち』を共に創っていきましょう！  
多くの皆さんのチャレンジを待っています。

福島市長 木幡 浩



令和5年度実施

# 福島市職員受験案内

職員数  
**2,175人**  
※令和4年4月時点



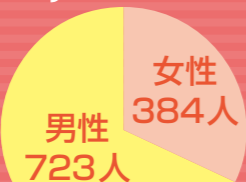
職員の平均年齢  
(令和4年度)

**39.6歳**

専門職  
**1,068人**



行政職  
**1,107人**



各役職段階にある職員に占める女性職員  
(令和4年4月時点)

係長職  
**20.3%**

課長補佐(相当)職  
**13.7%**

課長(相当)職  
**11.4%**

経験者  
(社会人経験者・UIJターン枠)

採用実績

**14人** (令和4年度実施採用試験)

**8人** (令和3年度実施採用試験)

**4人** (令和2年度実施採用試験)

実のある情報をお届けします!!

福島市の魅力



くだもの王国

多彩な温泉

満腹グルメ

彩り豊かな景色

盆地特有の気候と風土を活かし、豊富で高品質なくだものが生産され、初夏のサクランボから初冬のリンゴまで、年間を通して新鮮なくだものを楽しむことができます。

中心市街地から車で30分以内の場所に飯坂温泉・土湯温泉・高湯温泉など、それぞれ特徴ある温泉地が点在しており、気軽に温泉巡りをすることができます。

特徴的な見た目の「円盤餃子」や新鮮なくだものを使用したスイーツなど、他では食べられないグルメがたくさん!

吾妻小富士に雪形として現れる「雪うさぎ」は春の風物詩。また、「桃源郷」と称された花見山公園や一切経山から見た五色沼(魔女の瞳)など美しい景色を楽しむことができます。

福島市の魅力ある街づくり



道の駅ふくしま

福島駅前東口再開発事業

カジュワーク

MOMORINシェアサイクル

令和4年4月オープン。開業半年で110万人もの来場者があり、地域産業の新たな拠点となっています。「ドッグラン」や「屋内子ども遊び場」を備え、幅広い世代が楽しめる施設です。

駅前にコンベンション施設や商業施設等を備えた広域的拠点施設の建設を進めています。リニューアルした「まちなか広場」などを一体的に活用し、新たな賑わいの空間を創出します。

市内果樹農家の労働力不足解消と、職員の地域貢献活動及び人材育成を目的として、職員が報酬を得て果樹農家のお手伝いをする、全国でも先進的な取り組みです。

市内のサイクルポートで、24時間どこからでもレンタル・返却が可能です。公共交通機関で訪れた方も簡単に中心市街地へ出かけることができ、観光の活性化につながっています。



# 職員 Interview 行政職編

CLICK  
仕事の様子を  
movieで  
見られます!

**3年目**  
令和2年度採用

財務部  
資産税課 家屋係  
**橋本 幸太**

■業務内容  
建物の固定資産税賦課課の業務を行っています。新・増築した住宅等を訪問して構造や間取りなどの調査をし、税額を決定することが主な業務です。その他、建物の所有者変更情報登録や災害発生時の被害状況の調査も行っています。

■キャリア(異動履歴)  
▷資産税課 3年目



**21年目**  
平成14年度採用

商工観光部  
産業雇用政策課  
雇用促進係長  
**小沢 梓**

■業務内容  
高校生や大学生・女性の就職に向けた支援、働きやすい職場環境づくりに関する支援など、誰もがいきいきと働けるよう、雇用する側とされる側、双方のサポートを行っています。また、福島市が所有する労働施設の管理業務も行っていきます。

■キャリア(異動履歴)  
▷管理課(現契約検査課) 4年  
▷総務課 5年 ▷吉井田支所 4年  
▷議会事務局議事調査課 3年  
▷人事課 4年  
▷産業雇用政策課 1年目



**1年目**  
令和4年度採用

農政部  
農業企画課 農業担い手係  
**吉田 一輝**

■業務内容  
新たに農業を始めたいと考えている人へ支援事業を紹介したり、農業体験への誘導と実行までの計画作成を行ったりする新規就農関連業務の他、福島市が認めた農業者(認定農業者)の認定に係る事務や、経営継承した農業者に対しての支援事業の事務などを行っています。

UIターン採用



**8年目**  
平成27年度採用

市民・文化スポーツ部  
文化振興課  
文化財保護活用係  
**長南 美希**

■業務内容  
じょーもびあ宮畑の施設管理や重要文化財のしゃがむ土偶び〜く〜を活用したイベントの企画に取り組んでいます。また「ふくぶんプロジェクト」など、多くの人に福島市の文化に興味を持っていただけるような「気づき」のきっかけとなる事業を行っています。


■キャリア(異動履歴)  
▷納税課 4年  
▷広聴広報課 3年  
▷文化振興課 1年目

まれ育って本宮にまわった



## 仕事のやりがいはどこなところ?

固定資産課税台帳に登載された内容は市民の財産に関するものであり、先人たちの業務の蓄積です。自分の行った業務が何十年経っても残り続けるというのはやりがいを感じる一方、責任重大であると感じます。




## 仕事のやりがいはどこなところ?

高校生や大学生向けに、福島市で働く魅力や地元企業の取り組みを紹介する説明会を開催しています。将来の夢に向けてイメージを膨らませるきっかけをつくり、就職という人生の大きな節目への後押しをするというところにやりがいを感じています。

## 仕事のやりがいはどこなところ?

これまで農業に関わることが全くなかったため、日々新しい知識を得られることにうれしさを感じています。また、相談対応などで新規就農者の悩みが解決でき、役に立てた時にやりがいを感じます。



## 仕事のやりがいはどこなところ?


イベントを開催し、来場いただいた方の笑顔が見られた時にやりがいを強く感じます。イベントの事前準備や開催中に起こる予期せぬ出来事への対応など大変なことは多々ありますが、多くの方に助けていただきながら、共にイベントを作り上げた時に達成感を感じられます。

## 仕事で大変なことは?

新・増築家屋調査では建物の資材の確認をします。建築に関する知識がなかったので、確認した資材が評価基準においてどれに該当するのか判断に苦労することが多いです。個人情報が含まれたデータを扱うことも多いので、焦らず慎重に確認することを心掛けています。

## 入庁したきっかけは?

愛着のある福島市で街づくりに携わりたいと思いました。また、父も地方公務員で地域のために働く姿を小さい頃から見ており、その姿に憧れを抱いていたこともきっかけの一つです。




## 入庁したきっかけは?

前職では「仕事第一」で働いていましたが、結婚などを機に仕事とプライベートを両立して落ち着いて暮らしたいという気持ちが強くなりました。福島市は学生時代に住んでいたことがあり、地域へ貢献したいという想いが強かったことも志望したきっかけです。

## 入庁したきっかけは?

異動前は知らないことの方が多かったのですが、異動してからの業務内容や様々な人との関わりの中で福島市の文化に興味を持つようになり、福島市について深く知ることができました。



## 市役所のおすすめポイントは?


市役所の業務は市の発展の基となるものなので、やりがいがあります。

## 入庁して驚いたことは?

公務員は堅くて真面目なイメージがありましたが、意外にそうではない人が多いことです。また、職員数が多いため、様々な世代の職員と仕事やイベントなどで交流する機会があり、職員同士強いつながりがあります!


## 入庁したきっかけは?

東日本大震災を経験し、災害対策や災害の乗り越え方について学び続けてきました。市民の生活を守るため、防災情報の発信や災害に強い街づくりに携わりたいと思ったことがきっかけです。



## ワークライフバランスのために工夫していることは?

仕事も自分の時間も満足できるよう、家事や育児を家族で協力して行っていることです。自分の時間をつくってリフレッシュすることで、仕事も家事も育児も頑張れると感じています。



## 仕事で大変なことは?

農業者を対象とした支援事業はたくさんあるため、相談者に正確に案内する必要があります。受給要件は人によって異なるので、それを把握することに苦労しました。



## 入庁して驚いたことは?

想像していたよりも庁内の他の部署や外部との関わりが多く、日々新たな出会いと学びがあります。それぞれの部署で業務が異なるため、様々な経験を通して充実した毎日を送っています!

## 福島市の好きなところを教えてください!

景色がきれいで、食べ物が美味しいところが好きです。

## 受験生に一言!

市役所の仕事は多岐に渡るため、その分とてもやりがいがあります!

## 福島市の好きなところを教えてください!

四季がはっきりしていて過ごしやすいところやくだものが美味しいところが好きです。休日には買い物によく出かけるのですが、小さい素敵なお店が多いところも魅力だと思います。

## ワークライフバランスのために工夫していることは?

お休みの日は登山や旅行、スポーツジムやスノーボードをするなど心も体もリフレッシュしています。福島市役所には多趣味の人が多く、私も教えていただき、たくさんの趣味ができました。



## 受験生に一言!

福島市役所で「やりたい仕事」を実現してください。

## 福島市の好きなところを教えてください!

一切経山から見える魔女の瞳の景色が好きです!

# 職員 Interview 専門職編

Click  
仕事の様子を  
movieで  
見られます!

**7年目**  
平成28年度採用

健康福祉部  
保健所 健康推進課  
地域保健第一係  
**須田 晃子**

■業務内容  
現在は新型コロナウイルス感染症の対応が業務の中心になっています。福島市としても新型コロナウイルス感染症への体制整備の充実を図っているため、少しずつではありますが各地区での健康教育の実施や個別の健康相談なども受けています。

■キャリア(異動履歴)  
▷健康推進課 7年目



**3年目**  
令和2年度採用

福島消防署  
警防第二係  
**菅野 眞明**

■業務内容  
警防係の仕事は大きく消火活動と救助活動に分かれています。警防隊員としての主な業務は消火活動ですが、交通事故現場などでは人命救助の支援活動なども行います。また、日によっては救急隊員として救急車に乗り、傷病者の応急処置や病院搬送の業務も行います。

■キャリア(異動履歴)  
▷消防総務課付 6か月  
▷福島消防署 2年6か月目



**4年目**  
令和元年度採用

子ども未来部  
幼稚園・保育課  
余目保育所  
**山舘 未来**

■業務内容  
1歳児クラスの担任をしています。子どもたちの様子を保護者と共有したり、食事などの援助やクラス内で遊びの見守りを行ったりしています。子どもの発達に合わせた遊びを展開するなど、園児が保育所で楽しく過ごせるよう取り組んでいます。

■キャリア(異動履歴)  
▷余目保育所 4年目



**4年目**  
令和元年度採用

建設部  
道路保全課 維持係  
**安斎 善樹**

■業務内容  
市民の安全かつ快適な生活のため、福島市全域の市道やその周辺の街路灯などの問い合わせ対応、発注工事の管理を行っています。また、町内会からの要望に応じる地域生活基盤整備事業では一部地区を担当し、市民のリアルな声を聞いています。

■キャリア(異動履歴)  
▷交通政策課 3年  
▷道路保全課 1年目



## 仕事のやりがいはどこどころ?

健康の不安や生活について悩みがある方に寄り添い、保健師の視点から様々なサポートができることです。担当している方から「ありがとう」と声をかけていただいた時は、自分のサポートしてきたことが間違いないのではなかったと実感し、特にやりがいを感じます。

## 仕事で大変なことは?

保健師は必要な関係機関につなぐため、相談者のプライベートな内容にも踏み込むことがあります。その際、事前に十分に準備をして、相談者に信頼してもらえるような雰囲気づくりに気を付けています。



## 入庁したきっかけは?

もともと医療系の仕事に就きたいと考えていました。選択肢はいくつかありましたが、今まで支えてくれた地域の方や生まれ育った福島市に恩返しをしたいと思い、保健師を志望しました。

## 保健師ならではのエピソードを教えてください!



行政職との研修はもちろん、福島市は保健師ならではの研修も充実しています。計画に基づいて研究を行ったり、様々な方と交流をしたり、日々成長できる環境です!

## 市役所のおすすめポイントは?

親切で優しい人やユーモアのある人が多いところです。

## 入庁したきっかけは?



幼稚園生の時に見た、福島市消防本部主催の防火パレードがとても印象的でした。その後、学生生活を通して福島市の魅力に触れ、「県都としての責務」を持ちながら消防行政に携わりたいと志望しました。

## 仕事で大変なことは?

災害現場や救急現場は同じ現場はなく、やり直しができません。そのため、状況に応じた臨機応変な対応を求められる点に苦労を感じます。現場活動は経験による慣れも重要ですが、先輩方とともに、訓練や教養を重ね、個人と部隊で成長していくことが大切だと感じています。

## 入庁して驚いたことは?

消防は訓練と現場活動のイメージでしたが、事務処理などのデスクワークが多いことに最初は戸惑いました。日によって異なりますが、一日の業務内容の約3割がデスクワークです。



## 今のうちにやっておいた方がいいことは?

資格については働きながら取得することも可能です。今は睡眠や食事に気を配り、丈夫な体づくりをしておくといいと思います。

## 受験生に一言!

私たちと一緒に、市民の安全で安心な生活を守っていきましょう!

## 仕事のやりがいはどこどころ?

毎日の子どもたちの成長を見守れることが1番の幸せであり、この仕事の魅力だと思っています。また、行事などの目標に向かって子どもたちと協力して取り組む楽しさであったり、子どもたち同士が協力していく姿に成長を感じたりすることにやりがいを感じています。

## 市役所のおすすめポイントは?

市内には公立の保育施設が14もあり、たくさんの先生との出会いがあることや、研修制度も充実しているので日々学びながら成長できることです。休暇制度も整っているので、プライベートも充実させることができます。



## 福島市の好きなところを教えてください!

福島市の好きなところは自然豊かで四季の移り変わりを感じながら穏やかに過ごせることです。子どもたちと一緒に散歩や遊びの中で四季を感じるのももちろんのこと、プライベートでも季節の移ろいを感じられるところが好きです。

## 将来の展望を教えてください!



子どもたちの想いに共感し、寄り添うことを心掛けて保育に励んでいます。今後は、保護者の方の支援にも力を入れて、子どもたちの心が動く楽しい経験をさせてあげられるような保育者を目指していきたいです。

## 仕事のやりがいはどこどころ?



市道に関する要望は日々、市民から多く寄せられます。それに応える中で、市民の方から感謝の言葉をかけていただいた時にやりがいを感じます。また、完成した現場を見た際の達成感も当課ならではのやりがいだと思っています。

## 仕事で大変なことは?

市道の管理は福島市全域と広範囲にわたるため、要望も多く寄せられます。一度に多数の要望に対応することもあり、一つでも滞らないよう全体に目を向けなければならないことに苦労します。しかし、その分多くの現場を経験できるので、自分の糧にもなっています。

## ワークライフバランスのために工夫していることは?

仕事と休日をしっかり切り替えることを心掛けています。夏期休暇には旅行に行くなど、休日は仕事のことを忘れ、美味しいものを食べたり、福島市内の温泉を訪れたり好きなことをして過ごしています。



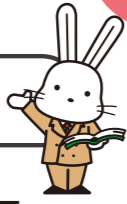
## 市役所のおすすめポイントは?

福島市役所は職員数も多く、様々な人との出会いがあります。他の課の人とも接する機会もあり、同じ技術職だけにとどまらず、行政職など多くの人と関わりを持つという点でもとても有意義です。

# 職員's Life Style

職員のリアルなライフスタイルを紹介！  
採用後の自分を想像してみよう！

入社1年目 高校卒業程度:実家暮らし



1か月の収入 収入 169,400円

初任給 162,400円+通勤手当 7,000円  
(公共交通機関)

1か月の支出 支出 113,000円  
(残額は貯金)

食費・生活費 40,000円、  
税金/社会保険料など 33,000円、  
交際費 10,000円、趣味代(ゲーム、サブスク、  
友人と遊ぶなど) 30,000円

## とある1日(休日)

7:30 起床	14:00 日帰り温泉
8:00 朝食	18:00 カラオケ
8:30 犬の散歩	20:00 帰宅
10:00 友人とドライブ/ 買い物	21:00 夕食・お風呂
12:00 昼食	22:00 スマートフォンで動画鑑賞・ゲーム
	23:30 就寝

入社1年目 大学卒業程度:1人暮らし



1か月の収入 収入 228,100円

初任給 196,100円+住居手当 28,000円  
通勤手当(自転車通勤) 4,000円

1か月の支出 支出 193,000円  
(残額は貯金)

家賃 55,000円、食費 25,000円  
光熱水費(通信費含む) 20,000円、  
税金/社会保険料など 48,000円、  
交際費 20,000円、趣味代(ゲーム、マンガ、  
友人と遊ぶなど) 25,000円

## とある1日(勤務日)

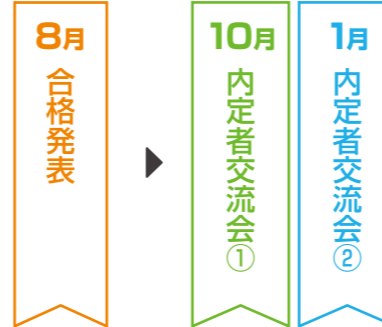
6:00 起床	17:15 終業
6:30 朝食・準備	17:30 デスク整頓後、退勤
7:45 通勤	18:15 帰宅
8:30 始業・外勤	18:30 夕食・お風呂
12:00 昼食・休憩	20:30 映画鑑賞
事務作業/窓口対応	23:00 就寝

## 受験者の気になる!を解決



採用までと、採用後の流れを知りたいです

※スケジュールは第一期職員採用試験を参考



入庁に向けて  
交流を深める機会を  
2回設けています



## 指導員制度

採用・各部署配属



入庁して半年間は、先輩職員(指導員)が仕事を丁寧に指導していきます。指導員は仕事をするために必要な知識やスキルを教えることはもちろん、社会人としての考え方や悩みごとなどもサポートしています。

新規採用  
職員研修



市職員としての基礎知識やマナーとなる「公務員倫理」や「文書事務」、「接遇」などを学びます。

福島市役所は  
育児支援にも  
力を入れています!



## 取得可能な育児支援制度

種類	男性	女性	期間	令和3年実績
産前休暇		●	8週間以内(出産予定日以前)	39人
産後休暇		●	8週間(出産日の翌日から)	37人
出産補助休暇	●		3日以内/配偶者の出産における入退院時の付き添いなど	51人
育児参加のための休暇	●		5日以内/配偶者の産前産後休暇期間における子どもの養育	48人
育児休業(※1)	●	●	対象の子が満3歳になるまでの期間/期間中は無給ですが、共済組合からの手当金があります(※2)	新規取得者 58人 (うち男性25人)
子育て支援休暇(※1)	●	●	7日以内(対象となる子が2人以上の場合は10日以内)/中学生以下の子どもの看護や学校行事に参加する場合など	556人

※1 1歳未満の子を養育する場合は育児時間を取得することができます。所属長に口頭により申し出ることにより、1日に2回(各45分以内)、または1日90分以内の期間で取得することができます。  
※2 子の1歳の誕生日の前日まで支給されます。

## Interview

大好きな子どもとの  
大切な時間を一緒に

10年目  
平成25年度  
採用  
総務部  
総務課 総務係  
渡邊 祐気



福島市は男性の育児休業(以下:育休)取得に力を入れており、職場全体で育児をサポートしてくれる環境があります。育休取得期間中は、一日中子どもと一緒に過ごせたことがよかったです。育休に対する不安は大きかったのですが、お互いが協力して学び合いながら育児をすることで、夫婦共に親として成長の期間にすることができたと思います。また、2回に分けて育休を取得できたので、妻にかかる負担を少しでも減らすとともに、一番近くで子どもの成長を感じることができました。自分の働き方に合った育休を取得できるのも福島市ならではと感じています。上司や同僚に育休を快く受け入れてもらい、応援なども励みになりました。育休に対する理解が非常に深い職場環境だと思います。



取得した支援制度 ※1時間単位で休暇取得ができます。

支援制度	期間	日数
出産補助休暇(※)	令和3年8月20日、24日(4時間)、27日	2日4時間
育児参加のための休暇(※)	令和3年9月1日、3日(5時間)、7日(3時間)、8日	2日8時間
育児休業(1回目)	令和3年9月13日~令和3年10月8日	26日
育児休業(2回目)	令和4年1月24日~令和4年2月4日	12日
子育て支援休暇(※)	令和4年2月28日	1日

## 他部署との交流はありますか?



介護保険課 菅野 陽日  
市役所は他部署との交流がたくさんあります。部署によりませんが、多くの人と関わりながら仕事を進めていくのも、市役所の魅力の一つだと思います。一人で仕事をするのではなく、周りの人と協力しながら業務を進めていくことの方が多いです! 皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみに待っています!!



普段関わらない部署の人ともサークル活動などで交流を深めることができます!

## 職場の雰囲気を知りたい!



公共建築課 山崎 笙子  
職員同士の仲が良く、和気あいあいとした雰囲気です。1年目ですが周りの先輩方が優しく、コミュニケーションが取りやすいです。そのため業務で分からないことも気軽に質問することができ、丁寧に教えてもらえます。また、先輩が担当する工事現場にも同行し、日々勉強になっています。

学校教育課 田畑 陽平

優しくユニークな人がたくさんいる職場です!現在の職場は年が離れた人が多いですが、会話が楽しく、和気あいあいとした雰囲気で毎日過ごしています。1年目で分からないことだらけでしたが、一つずつ丁寧に教えてくれました。



## プライベートは何をしていますか?



交通政策課 草野 祐希  
温泉やライブに行くことが多いです。温泉に行くとのんびりしたり、美味しいものを食べたり、ライブでリフレッシュしたりすることが好きです! 休暇制度を利用して、県内だけでなく県外の温泉に出かけたりもしています。オンとオフを切り替えてプライベートを楽しんでいます!

市民課 高木 あゆみ

趣味の舞台を観劇したり、近くのカフェを巡ったりと好きなことをして過ごしています。また、福島市にある多くの温泉を訪れることも楽しみの一つです。土日祝日に加えて夏季休暇などの休暇制度も充実しているため、リフレッシュする時間を十分に確保することができます。

